



▲BAN-BANネットワークスの新春インタビューにて

寒～い冬の朝、外に置かれた水鉢の上に薄氷が張っていました。その氷の下には元気に泳ぐメダカが居て、自然界で生きる小さな生き物のたくましさで元気をもらった年明けでした。今年も元気で頑張りましょう。

◆12月28日に、新しく発見されたある小惑星の名が、播磨町の先覚者である「新聞の父 ジョセフ・ヒコ」という名前に決定したとの発表がありました。この星の発見者である関勉さんは、「イケヤ・セキ」という有名な彗星の発見をはじめとして、これまで数々の小惑星を発見してこられた方です。昨年の秋頃から、私や資料館の担当者が関さんにお会いし話を進めてきました。この星が発見された日がジョセフ・ヒコの誕生日であるという大きな偶然や、播磨町が町制施行50周年ということもあってご快諾をいただき、アメリカの国際機関に申請をしていただいております。その決定を今か今かと心待ちにしていたのが、年明け早々にとても夢のあるビッグニュースとなりました。播磨町には5年前に県立考古博物館が誕生しました。地中深く眠る「古代の歴史」を学び、「古代の文化」に触れることができる博物館は、大人だけでなく子どもたちにとっても得がたい体験の場となっていますが、今回は播磨町にゆかりのある人物の名前を持つ星が発見したということで、夢はさらに大きく宇宙にまで広がりました。夜空を眺めたら、どこかに播磨町の「ひこ星」があることを思い出してくださいね。

◆BAN-BANネットワークスの新春インタビューでは、毎年「今年のテーマ」を掲げることになっています。私の今年のテーマは「まちの魅力度UP」。普段気づいていないまちの魅力度を再発見し、再生し、磨き上げ、すてきな魅力いっぱいのもちたいと思います。

播磨町長 清水ひろ子

紺綬褒章 宮部一夫さん（宮北）

企画グループ ☎079(435)0356

宮部さんは平成23年12月、町のために有効に使っていただいたと町へ500万円の寄附をされました。このことに対して、天皇陛下より紺綬褒章を受章されました。

播磨町 町制施行50周年記念 中央公民館 餅つきをしました

中央公民館 ☎079(437)6980

12月23日中央公民館西側の広場において、100kgのもち米を用意して餅つきを催しました。今では見かけることが少なくなった薪と蒸籠で、もち米を蒸し、杵でつくという昔ながらの餅つきです。

約500人の参加者があり、きな粉とあんのかきだての餅を美味しくほおばりました。年末大掃除に参加された公民館利用者や若いファミリーにも好評でした。

また、高齢者や福祉施設の希望者には紅白の餅を届け大変喜ばれました。



播磨町 町制施行50周年記念 中央公民館文化講演会 スティールパンコンサート

中央公民館 ☎079(437)6980

1月6日FANTASTICSのスティールパンコンサートが中央公民館で開催されました。スティールパンのコンサートは当公民館で初めてということで、「スティールパンってどんな楽器？」と町民の皆さんの関心も高く、演奏が始まると初めて耳にする楽器の迫力と楽しいリズムで会場が盛り上がりました。

体験コーナーでは、多くの方がステージに上がり、楽器にふれることもできました。200人を超える会場の皆さんから、アンコールの音が響くほどの熱演で、新春にふさわしい大変楽しいコンサートとなりました。



今月の表紙は、南部子育て支援センターで行われた「地域交流手作り会 お正月飾りづくり」でのひとこまです。

門松の材料は、地域の人が集めたものです。本物の青竹、南天、松葉、松ぼっくり、台座を囲むワラは畳おもての切れ端、巻かれた飾りも畳の縁に使う織物や、のし袋に使われる水引きなどです。どれも参加する親子の笑顔を想像しながら、ボランティアさんが集めた材料ばかりです。

子どもたちは思い思いの飾りを使って、あったかい正月飾りを完成させました。

(宮)

楽屋裏

優良民生委員・児童委員兵庫県知事表彰を受賞

福祉グループ ☎079(435)2362

11月30日に高砂市文化会館で開催された兵庫県福祉大会で、西田光雄さん（古田東）、福壽晃二さん（二子）、中川富貴子さん（本荘北）、三上年一さん（本荘西）さんら4人の民生委員・児童委員が、優良民生委員・児童委員として兵庫県知事表彰を受賞されました。

4人の委員は、平成13年12月に同職に就任して以来、単身高齢者世帯や身体障害者世帯などを訪問、親身に助言を行ったり関係機関との連携を図るなど、地域福祉の向上に積極的に取り組まれています。

播磨町自主防災組織合同研修会を開催しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

12月15日午後1時30分より、播磨町中央公民館において播磨町自主防災組織合同研修会を開催しました。

研修会では、株式会社ランドシステムの岡本茂氏を講師としてお招きし、「地域の災害特性を知って、防災・減災を考えよう」と題し、講演をいただきました。

出席者は、播磨町自主防災組織の方々をはじめ、播磨町消防団員、学校関係者、町内企業関係者など約160人で、大変熱心に講演に聞き入っておられました。

古田西自治会長の櫻井修二さんが兵庫県連合自治会会長賞および兵庫県こうのとり賞を受賞されました

住民グループ ☎079(435)2364

両賞は、いずれも自治会長として地域づくりに貢献された功績に対して表彰されるものです。

櫻井会長は、多くの自治会が役員の手不足を悩んでいる中、継続して自治会長の重責を担われ、自治会内外の住民交流に力を注がれています。

南あわじ市での表彰式で受賞者を代表して表彰を受けられた櫻井会長は、「あたり前のことをしてきただけ」と謙虚に喜びを語っておられました。



トピックス

まちのわだい

播磨町農産物品評会が開催されました

住民グループ ☎079(435)2364

12月22日、JA兵庫南播磨支店「ふれあい会館」において第10回農産物品評会が行われました。地域農業の振興と栽培技術の向上を目的に、例年播磨町とJA兵庫南が共催しており、今年は12人の生産者から23点の出品がありました。

審査の後、出品作物は即売され、立派に育てられた野菜を手に入れた皆さんは、満足そうに会場を後にされました。売上金は播磨町社会福祉協議会に寄付されました。

この農産物品評会は、町の農産物を広く紹介する機会として、今後も開催される予定です。来年も、多くの生産者に出品していただき、多くの皆さんに足を運んでいただきたいと思っております。



かきもと すばる
恒本 昂くん（野添城）

1歳

いつもパワフルなすばるくん。これからますますすばるの笑顔でみんなを幸せにしてね。
(お父さん・お母さんより)